

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名

【 広島県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	講演会：熊野町立熊野東中学校全校生徒 402名 実技：熊野町立熊野東中学校3年生4クラス 126名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 実技 保健体育 ） ② 行事名（ 講演会 体育的行事 ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック選手の講話から、粘り強く練習に取り組むことや積極的にチャレンジすることの大切さを感じ取り、運動に親しむ態度の育成を図る。国際的なスポーツ大会が果たす役割について考えることができる。
5 取組内容	事前学習 保健体育（体育理論）の授業で、スポーツの文化的意義について学習を行う。オリンピックの歴史の学習や廣田遙さんのプロフィールの確認を行う。 廣田遙さんの講演会 トランポリンとの出会い、諦めないことの大切さ、オリンピックを通して学んだことについて講話をされる。 廣田遙さんと一緒にクラス対抗長縄大会 廣田遙さんの指示のもと、クラス対抗で長縄大会を行った。オリンピック選手と交流しながら、体を動かすことの喜びを感じられる内容であった。 事後学習 保健体育（体育理論）の授業で、国際的なスポーツ大会が果たす文化的な役割や働きについて考える。
6 主な成果	・オリンピック選手の講話を聞くことで、運動部活動に参加する生徒の意欲は高まった。 ・オリンピック選手と交流しながら、スポーツを行うことで交流することの楽しさについて体感することができた。

7 主な課題等	・オリンピック選手の話す内容を事前に十分把握できなかったため、目標（ねらい）の設定を検討することが難しかった。事前打ち合わせをもっと丁寧に行う必要があると感じた。また、パワーポイントの資料を事前に見させていただければ、より効果的にねらいに迫ることができると思う。 ・実技では、体育科教員が司会・進行をし、長縄大会を行ったが、オリンピック選手の実演や手本を生徒に見せるとより生徒の意欲や行動に変化が見られると感じた。
8 来年度以降の実施予定	来年度も、継続したい。オリンピック選手との交流を通して、生徒の可能性や意欲を引き出したい。課題に挙げたことを改善したい。